



経営統合に関する説明会

2006年5月23日

伊藤忠テクノサイエンス株式会社
株式会社CRCソリューションズ

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。

経営統合の背景と概要

◆ 株式会社CRCソリューションズ
代表取締役 社長執行役員 杉山 尋美

統合の背景

市場環境

- ITサービス産業は、景況感の回復及び企業業績の改善に伴い、緩やかな回復傾向
- 顧客ニーズの高度化・複雑化とIT投資採算改善の要請の強まり

競争環境

- 企業間規模格差の拡大
- ゼネコン型の階層(プライムと下請け)構造

- 大手企業による市場の寡占化
- 中堅企業のブティック化

これからのプライムコントラクトに
求められるもの

顧客基盤の拡大

顧客へより多くの
付加価値を提供

経営体力

両社の抱える課題

安定成長は期待できるものの、もう一段の飛躍のため
ギアチェンジが必要。

提携戦略の推進により事業領域を広げ、成長を加速
するべき時期に来ている。



- 安定収益基盤の拡充
- エンタープライズ事業領域の更なる規模の拡大
- ITライフサイクルをトータルで支える能力の拡充



- データセンター事業の規模の拡大
- 営業力の強化と顧客基盤の拡大
- SEリソースの確保

統合スキーム

速やかにシナジー効果を出すため、統合方式は**合併**

合併の概要

- ◆ 合併期日 : 2006年10月1日(予定)
- ◆ 存続会社 : 伊藤忠テクノサイエンス株式会社
- ◆ 合併比率 : (株)CRCソリューションズの株式1株に対し、伊藤忠テクノサイエンス(株)の株式0.31株を割当てる

新会社の概要

- ◆ 商号 : 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(予定)
- ◆ 本店所在地 : 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号
- ◆ 代表者 : 奥田 陽一
- ◆ 資本金 : 21,763百万円

更なる飛躍のための第一歩

経営統合の狙い

- ◆ 伊藤忠テクノサイエンス株式会社
代表取締役社長 奥田 陽一

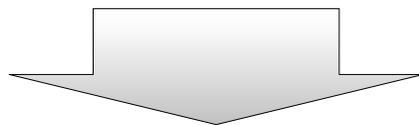
更なる飛躍のための第一歩

1. 将来像に向けた成長戦略の実行

2. 本統合によるシナジー効果の実現

新会社の目指す将来像

IT・情報サービス業界において、
ユニークなビジネスモデルで総合力を兼ね備えた会社
規模においてトップ集団に入る会社
テクノロジー・リーディング・カンパニー



運用/保守 : SI(構築/開発) : IT製品販売 = 4 : 3 : 5モデル
の更なる進化

新会社の目指す将来像

1 ITライフサイクルをトータルでサポートできる会社



2 最新のテクノロジーにも精通し、新しいソリューションを生み出す力のある会社

- ◆ オープン系システム基盤の構築技術力
- ◆ 海外最先端IT企業との強力な相互協力関係による製品発掘力

新会社の目指す将来像

3 特定業務に強みを発揮する会社

- 例) ◆ CRM、SCM、販売管理を中心としたフロント系基幹アプリケーション構築
- ◆ インフラ基盤構築業務
 - ◆ データセンター運用業務

4 特定業種に強みを発揮する会社

- 例) ◆ 情報通信分野、金融分野、流通分野

5 新たなビジネス領域での収益を絶えず生み出す会社

- 例) ◆ ITユーティリティサービス、アプリケーションサービス
- ◆ ユビキタス時代における新サービスの創造

本統合によるシナジー効果

1 サービスビジネス領域の強化による収益の拡大

- ◆ データセンター事業を中心とした運用サービス事業の規模の拡大
- ◆ 部門間の緊密な連携によるサービスの向上
- ◆ 新たなサービスの構築

2 SI力の強化

- ◆ 5000名の社員技術者集団と2万人規模のSE動員力
- ◆ お互いの持つ得意分野(基盤構築力/業務ノウハウ)の相互展開
- ◆ ブランドイメージ向上による優秀な人材の拡充
- ◆ 大型案件への対応力の強化

本統合によるシナジー効果

3 強みを生かした既存ビジネス規模の拡大

- ◆ 相互の顧客に対し、強みを有する事業領域の展開
- ◆ 成功事例の相互展開

4 統合効果による人的リソースの最適配分

- ◆ 管理/非営業部門の統合・効率化による人材最適配置
- ◆ 営業・技術・管理部門間でのダイナミックな人材アロケーション

合併後の事業規模（2006年3月期 連結 単純合算ベース）

売上規模 約3,000億円
純利益 約140億円

社員数 約6,000人

総資産 約2,100億円
株主資本 約1,300億円

国内営業拠点 27ヶ所
国内保守拠点 約100ヶ所

	2006年3月期実績 (億円)		
	CTC	CRC	単純合算
売上高	2,390	605	2,996
経常利益	205	44	250
純利益	115	26	141

	2006年3月期実績 (人)		
	CTC	CRC	単純合算
社員数	3,399	2,269	5,668

	2006年3月期実績 (億円)		
	CTC	CRC	単純合算
株主資本	1,156	199	1,356
総資産	1,780	339	2,119

海外拠点 7ヶ所
(シリコンバレー、ニューヨーク、ロンドン、上海、北京、香港、台北)